

Funehiki High School News vol.116

◆卒業証書授与式

3月1日、第67回卒業証書授与式が行われ、130人の生徒が本校を卒業しました。

卒業生を代表して佐藤大虎さん（船引南中出身、写真）が卒業証書を受け取った後、来賓の方々からご祝辞をいただきました。卒業生代表の答辞では、吉田公幸さん（船引中出身）が「大学卒業後は田村市に戻り、地域の活性化に尽力したい。船引高校が母校であることに誇りを持って、人生を歩みたい」と力強く述べました。

卒業生のさらなる活躍を期待します。



◆デュアル実習成果発表会

2月21日、市文化センターで平成28年度デュアル実習成果発表会が開催され、田村市、受入企業・施設、県立学校および市内の小中学校から約80人の方々に出席いただきました。28年度は、2年生14人、3年生20人が企業や施設で実習を行い、社会人としてのマナーなどを学びました。発表会では、それぞれ



が学んだことや実習の成果、進学・就職に向けた抱負などを、写真・動画をまじえて発表し、その後に参加者との質疑応答が行われました（写真）。講演会では、田村市復興応援隊の佐原隊長に「地域を担う若者に求められること」という題で講演いただきました。

21年度に始まった本実習は、地元企業・施設のご協力のもと今年度も行います。今後ともご支援をお願いします。

●出席者からの声

「様々な業種の企業や行政が協力している。大変素晴らしい」
「デュアル実習が、市を担う若い人材の育成につながってほしい」

◆ドローン特別講座

3月17日、ドローン特別講座のまとめの発表会が行われました。受講生徒は、より高度な技術を身につけながら、楽しんで講習に取り組みました。空撮班が撮影した動画は、本校ホームページの「校長ブログ」内の記事でご覧いただけます。

●受講生の声 佐藤史隆さん（2年3組、船引中出身）「きれいな映像を撮りたいと思い、空撮班で活動しています。今回は、市内の有名な場所を紹介したいと考え、市役所の協力のもと、あぶくま洞などで撮影、3分間の動画を作成しました。操作や編集作業は大変でしたが、とても良い映像ができたと思います。」



▲受講生が撮影した本校舎の空撮写真

◆地元企業説明会

2月24日、JA福島さくら、(株)ミツバ、住友電気工業(株)、田村福祉会、(株)ヨークベニマル、大橋機産(株)に協力いただき、地元企業説明会を開きました。参加した生徒は、自分の希望進路や興味に沿って選んだ2つの企業・団体から説明を受けました。将来地域に貢献できる人材となることを改めて意識する機会となりました。

●参加した生徒の声

「日頃の生活から、視野を広く持ち、自分に責任を持って学校生活を送っていきたい。」

「仕事では地域や職場の人との協調が大事だと改めて感じた。」



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<http://www.funehiki-h.fks.ed.jp> mail...school@funehiki-h.fks.ed.jp



春が来た

Crisutina Garcia

クリスティーナ・ガルシアさん
(アメリカ合衆国
テキサス州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	46

見よ、冬は過ぎ、
雨もやんで、すでに去り、
もろもろの花は地にあらわれ、
鳥のさえずる時がきた。(旧約聖書「雅歌」第2章)

春が来ました。これから、とても美しい桜が咲き始めます。
私が日本に来てから1年が過ぎたのですね。



昨年の4月1日に私は日本にきました。美しい木々や滝桜を見たことを覚えています。日本に来ることに、私はとても興奮していました。咲いたばかりの桜のように、新鮮な気持ちでした。

わずか1年間で、私はとてもたくさんの経験をしました。

ゴールデンウィークに訪れた長野県。とても楽しかった小学校の運動会。田村市で見ることができた伝統ある大相撲。石川県の兼六園や宮城県の松島。8月のお盆には、大滝根川を流れる灯籠流しと花火を見て、とてもすてきな時間を過ごしました。田村市国際交流協会主催の「2016 ハート to ハート in 田村」にも参加しました。横浜で、家族と一緒にカップヌードルを作る体験もしました。私の両親は初めて日本を訪れたのですが、素晴らしい時間を過ごし、日本が大好きになりました。冬には蔵王を訪れ、スノーモンスター（樹氷）を見ることができました。私の故郷テキサス州では、めったに雪は降らないのです。その他にも、豆まきに参加したり、幼稚園児と一緒にお昼を食べたりしました（園児はとてもかわいいです）。私が英語を教えているクラスはとても素晴らしく、生徒はとても楽しい子どもたちです。

日本で生活する中で、私はいろいろなことを学んでいます。カレーライス、カツ丼、オムライスの作り方を覚えました。日本語も少し覚えましたが、今も勉強中です。



日本人々はなんと親切で、日本の文化はなんと美しいのでしょうか。新しい友だちがたくさんでき、日本の生活を十分に楽しんでいます。

日本で過ごす最初の1年は、とても速く過ぎました。

今、木々を見てみると、再び春がやってきたことを感じ、去年のことを思い出します。日本での2年目が始まるのです。

桜の花は美しいですが、その命は短いです。私たちがこの世界にいる短い時間を、「石火（火打ち石を打つときに出る火）の瞬間」と表現した日本の作家がいたそうです。人間の命も、桜の花のようなものなのかもしれません。そして、人生はとても美しいです。桜のように。

この季節に私たちは美しい木々を楽しみますが、同時に、お互いを励まし合いましょう。家族や友人を元気づけましょう。人生は長くはありませんが、とても美しい。春は、私たちの人生を祝って楽しむ季節です。

さあ、学校の新年度が始まりました。新しい1年、新しい生活、新しい可能性の始まりです。一緒にがんばりましょう！